

【はじめに】

このたびは、弊社の企画にご興味をお持ち頂きまして誠にありがとうございます。
心から感謝申し上げます。

さて今回、お取り組み頂きます企画をご説明する前に、以下の3点の注意事項に付き冒頭でご案内をさせていただきます。
恐れ入りますが、内容に付きご理解を頂いた上で、企画内容のご説明にお進み下さい。

＊

◆剽窃行為について

最近、複数のライターが剽窃行為を行っている事例が確認されました。
なお剽窃とは、他者のネット記事や著作物の一部または全部を自分の作品であるかのように引き写し、盗んで、出典を示さないことです。

原稿はすべて、第三者の著作物を参考にする場合は、必ず出典・参考を示すのがライティングのルールです。出典を示さない行為は、窃盗や万引きと同じ行為です。
これは、そのまま引用する場合に限らず、参考にし、または参照する場合でも同様です。

出典を示さずに第三者の著作物をコピーもしくは引用、参考、参照した場合、著作権侵害に当たり、刑事罰の対象となります。

なお著作権侵害は、著作権法第119条に定められているように、非常に重いものです。
「十年以下の懲役若しくは千万円以下の罰金に処し、又はこれを併科」
(公益社団法人著作権情報センター http://www.cric.or.jp/db/domestic/a1_index.html)

申し上げるまでもないことですが、**剽窃行為は容易に判別**できます。
そして、**民事・刑事上の責任を負って頂くことも含めて例外なく、厳しく対処します。**
絶対に、このような不幸な結果を招かないように、ルールは誠実にお守り下さい。

剽窃は、一般に理解されているほど軽いものではありません。
ご本人様を含めて、関係者とその周辺の人を全員、確実に不幸にします。
必ず、ルールをお守り下さいますよう、改めてお願いを申し上げます。

このような行為とは無関係の、善良なライター様にとっては非常に不愉快なご案内であろうかと存じますが、ご了承下さい。
必ずご確認下さいますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

◆著作権について

納品された原稿は、検収合格の時点で所有権および著作権がライター様から弊社に移転します。
なおこの場合の著作権には、著作権法第27条(翻訳権、翻案権等)、第28条(二次的著作物の利用に関する原著者の権利)を含みます。
対価は、委託料に含まれています。
また著作権法第18条(公表権)、第19条(氏名表示権)、第20条(同一性保持権)にかかるとする権利を全て行使しないこととします。

◆秘密保持義務について

ライター様は本契約に関連して、弊社から提供を受けた情報を原則として全て、第三者に開示できません。この秘密情報には、署名記事である場合を除き、ご自身がその原稿の著者である事実の公表も含まれます。レギュレーション上に記載の全ての内容が、秘密保持義務の対象になることを十分にご理解を頂いた上でお仕事にお取り組み下さい。

なお、お仕事をお引き上げ頂ける際は、「剽窃行為について」「著作権について」「秘密保持義務について」全て確認し同意をする旨のお返事をお送り下さい。
その後に、発注手続きに進ませて頂きます。

それでは、募集の趣旨のご説明にお進み下さい。
ありがとうございました。

【募集の趣旨】

「アルバイト採用に課題を抱えている全国の企業・店舗の皆さまが、すぐに課題解決の糸口を見つけられるようにしたい」

「自社の求める人材を採用したい」

「アルバイトスタッフに長く活躍し続けてもらいたい」

本企画は、上の方針をもとにオウンドメディアを運営する、
「アルバイト採用情報サイト向け」
のコンテンツ作成です。

ライターの方々に特に意識していただきたいのは、
「アルバイト採用担当者」のニーズに寄り添うこと。

例えば、

「アルバイトの気持ちがわからない」

「アルバイトのマネジメントが難しい」

「こんなアルバイトは良かった／悪かった」

「アルバイト同士の人間関係を良好にするための秘訣」

「求人のうまいやり方は？」

など、アルバイト採用に関するノウハウ・お役立ち情報といった貴重で役に立つ情報です。
非常に影響力のあるメディアであり、人生の大きな意思決定につながるかも知れない。
そのような読者の想いを理解できる方からのご応募を、お待ちしております。

＊

月間募集本数(全てのライター様への発注総数)は10本です。
もちろん、質の高い記事を生み出すことのできる書き手の方には、継続をお願いいたします。

特に

「アルバイト募集の経験者」

「店舗でのアルバイト管理」

「多数の場所でのアルバイト」

などの経験をお持ちの方に、「体験」「エピソード」を含めて執筆いただけるような書き手の方を優遇させていただきます。

1. 想定する読者層について

アルバイト管理・および採用に課題を抱えている全国の企業・店舗の経営者、管理者、社員が読者です。

具体的な執筆内容、網羅して頂きたい単語、大まかな記事の狙いはこちらからリクエストします。

後述する内容をよくご確認下さい。

2. 求められるトシマナ(トーンとマナー)と記述のルール

・トシマナについて

文章は「です・ます調」で作成して下さい。

「だ・である調」で作成された原稿はそれだけでNGとなります。

・原稿の構成について

原稿の構成は以下を基本形とします。ただし、構成要素の順序については書き手の方が読みやすいと判断すれば、下に従う必要はありません。

(アルバイトの経験、アルバイト募集・管理の)エピソード

↓

エピソードから得られる教訓、法則

↓

教訓を強化する「エビデンス」

↓

まとめ

(その他時事、ニュースなどの紹介を挟んでも良い)

なお「エピソード」+「エビデンス」が原則です。個人の主観や考え方・感じ方をきままに述べて頂くメディアではありません。

エビデンス+解説だけの原稿では辞書的であり、体温が無い、自分ごととして感じられないコラムになる可能性があるため、何かしらの実体験に基づくエピソードを含めてください。

したがって、「エビデンスに基づく論旨 + 実際の体験、ニュースや書籍などを引用した実例の紹介」という構成を歓迎します。

※ただし、エピソードについては以下のようなニュアンスを全面的に禁止します。

1. 他人や他社を批判・批評する内容

「その面接に来た学生は頭があまり良くないので、会話を引き出すのに苦労しました」

「当時私が勤めていた会社は人事の仕組みすら無く、苦労しました」

など

2. 自画自賛な成功体験や、他人や組織を見下すもの

「これほどまでに何もなかった組織で成果を収めるために、私は夜も寝ないで努力しました。」

「そもそも、仕事ができる人間など10人いれば2人だけなのです。だから私は、採用にはいつも苦労します」

など

「組織や他人が無能であったために失敗した」

「自分が優秀だったので成功した」

といった話からは、何一つ学べる要素がないためです。

失敗の原因、成功の理由を、客観的に理解できる言葉やデータで説明し、読者にシェアすることを意識してください。

また「エビデンス」については、国・政府機関(go.jpドメイン)及び地方団体、公共機関、独立行政法人(大学はNG)

に限定し、マスコミ、企業が発表しているデータについてはNGいたします。
ただし例外として「マイナビ」「マイナビ関連会社」が調査し、公式に発表したデータにつきましては、用いて良いものとします。

・視覚に訴えること

図やグラフ、表が含まれており、視覚的に理解しやすい原稿を歓迎します。

・簡単に理解できる内容であること

スマホやPCで読む原稿は、平易であり、わかりやすいことが必須です。

冗長な文章、難解な説明、専門用語の羅列は、読者の離脱を誘います。

積極的に改行を用いて、読み手の負荷を減らしてください。

また、以下の点にもご注意ください。

1. アルバイト目線で不快に感じる筆致はNG

読者には、アルバイトの方もいます。本企画は採用側を意図して書いて頂く原稿ですが、アルバイト志望者の目線で読んでも不快な内容は避けて下さい。

(例)アルバイトは短期で辞める事を想定しているので、福利厚生まで考える必要はありません。

2. わかりやすい教訓がある構成にする

話が分散すると、何を解釈すべき話だったのかぼやけます。いろいろな事を伝えるのではなく、メッセージ性は一つのテーマに絞り、そのテーマに沿った事例やエビデンスを用意して下さい。

また、最後の締めには、わかりやすくその教訓に言及して下さい。

3. 明確に「採用担当者向け」を意識して下さい

読者はあくまでも「採用担当者」です。

採用担当者にとって、アルバイト・パートの採用や、その後の管理、運営を含めて、「へー」「なるほど・・・」

という読後感が感じられる記事になることを、執筆の中心に置いて下さい。

3. 注意事項

特定の会社や商品を推奨・批判する内容はNGです。

その他、ソープ、ヘルス、キャバクラ、メイド喫茶などの風俗産業

政治、宗教、差別的な内容、根拠のない主観による主張と言った内容もNGです。

またSEOを意識し、KWをただ書き重ねるライターも散見されますが、全く無意味なばかりか、マイナスの行為です。

コンテンツのクオリティも著しく低下しますので絶対にやめて頂き、「品質」とは「オリジナリティのある体験をもとにした書かれた記事」の意識をもって、お願いします。

4. 記事テーマ(キーワード)

この企画では、

・書いて頂きたいトピック

・SEO上意識して欲しいKW(キーワード)

・共起語(場合により、満遍なく文中に盛り込んで欲しい単語)

・タイトル案の一例

・ニーズ及びコンテンツの意図

をこちらから指定します。

下記のリンクから、執筆して頂くトピックを選択し、宣言の上で執筆に取り掛かって下さい。

※色がグレーになっているものは、既に他のライター様に選択されたkwです。選択できません。

https://docs.google.com/spreadsheets/d/1da9NggFaVio_oCEY7o2topjNFMEA8ducLmS9S0U9dhg/edit#gid=1082111233

5. 仕事の流れ

(1)トピックの選択・構成案のご提出

採用を通知させて頂いたライター様は、まずお取り組み頂くトピックを宣言して下さい。その時点で、該当トピックを仮予約として他のライター様には選択不可とします。

そのトピックがまだ空いていることを編集部から回答をさせて頂いた後に、構成内容をテキストファイルで作成し、お送り頂きます。(ワードもしくはグーグルドキュメント推奨)。

なお、選択して頂いたトピックは、**構成案冒頭及び完成原稿の冒頭の両方に、必ず明記**して下さい。この作業を忘れるライター様が本当に多いので、くれぐれもよろしくお願いします。

また構成案は、最低でも

【選択したトピック】

【目指したい読後感】

3行～5行程度。

【そのために用いるエビデンス】

URL、サイト名など

を示した上で、

- タイトル
- ・リード文の趣旨
- ・小見出し1
小見出し1の概要
- ・小見出し2
小見出し2の概要
- ・小見出し3
小見出し3の概要

といった構成内容への落とし込みをお願いします。

なお実際の原稿執筆にあたっては、**起承転結の4段落**を意識して下さい。

※必ずしも4段落である必要はありません。メリハリと流れを意識した構成を心がけて下さい。

起(リード文):500文字程度

これから述べようとすることに対する概要説明、意外な事実や問題点といったインパクトのある問題提起などで読者を惹きつけて下さい。

承(論旨の詳述):1500文字程度

論旨について、各種データやグラフなどを用いてわかりやすく説明して下さい。

この部分がわかりにくと台無しです。

必ず、視覚にも訴えてわかり易い内容であることを心がけて下さい。

転(意外な切り口や見方の提案):1000文字

誰もが知っているような常識をただ書くだけではそれは辞書です。

ネットで調べればすぐに分かることでもあり、そのような文章に価値はありません。

前段で説明したことに加え、意外な切り口や見方、考え方も提供し、インパクトのある展開を広げて下さい。

結(結論):500文字程度

結論として伝えたいことは何であったのか。

余韻の残る締め方をして下さい。

この段落に図表は不要です。

なお、上記の文字数を合計すれば3500文字になります。

文字数の規定は3000文字前後ですので、必要に応じて各段落で文字数を調整して頂いて全く問題ありません。

また今回のメディアは**文字数ありきではありません。**

間延びしない面白い文章であれば、最大4800文字程度まではOKです。

ただし、2800文字を下回る場合は加筆をお願いすることがありますので、その点は予めご了承下さい。

また本記事は、署名制です。

記事の最後に、著者の署名(プロフィール)をご記載ください。

(2) 執筆開始

構成案にOKまたはNGをお伝えします。OKであれば執筆開始、NGであれば指摘内容に従い案を再構成して下さい。その際のレギュレーションは別途下記に示しますので、必ず熟読の上でお取り組みをお願いします。

なお執筆原稿でも、

1. 冒頭に選択したKWを記載して下さい。
2. 構成案で書いて頂いた【記事の狙い(目指したい読後感)】をコピーして記載して下さい。

(3) 納品

納品後の検収は、担当者による簡単な検収と、運営責任者による最終的な検収の2種類があります。

それぞれの段階で、最大で2回の修正依頼をお願いすることがございます。

ご了承下さい。

また担当者検収は、**土日祝日を除く3営業日以内を目安**にお返事を差し上げます。

運営責任者検収は、**土日祝日を除く7営業日を目安**にお返事を差し上げます。

なお、これら目安を過ぎても修正依頼、検収ともにお返事が届かない場合は、**連絡が不通になっている可能性を疑って、お返事を催促して下さいますようお願い**します。

メールやチャットなどの不具合、迷惑メールフォルダにご連絡が入っていて気がつかないなど、意図しない連絡の遅延は0ではありませんので、ご協力を宜しくお願いします。

(4) 検収、お支払い

検収完了後、速やかにお支払いをさせていただきます。

クラウドソーシング経由ではなく、直接契約をさせて頂いているライター様は、個別に取引条件をご案内します。

なお、検収完了後に弊社もしくは運営者の判断で、**原稿内容を修正させて頂くことがございます**ので予めご了承下さい。

また、記事に関する著作権、及び著作隣接権に関する諸権利は、検収の完了を持ちまして全て弊社に移転します。著作者人格権も行使しないことに同意をした上でのご提出となりますので、併せて必ずご理解をお願いします。

執筆に関する守秘義務も負って頂きますので、十分にご注意下さい。

6. 禁止行為

以下の内容は直ちにNGになりますので、ご注意下さい。

- ・法令や法律、公序良俗に反するもの
- ・政治、宗教に関する記述。また差別的な内容や特定の会社、商品を批判するもの
- ・第三者の利益を害するもの
- ・特定の企業名や団体名、個人名に言及すること
※go.jpドメインに記載があり、これらをエビデンスとする場合でも禁止です！
- ・根拠のない主観で構成された記述
- ・ネット上の著作物をコピー＆ペーストするもの
※納品後に発覚した場合、民事上の責任を負って頂く可能性があります。絶対にしないで下さい。

7. データや引用元の出所等と著作権について

利用可能なデータの引用元は、**国・政府機関（go.jpドメイン）及び地方団体、公共機関、独立行政法人（大学はNG）の公開しているデータに限り**ます。

ただし例外として「マイナビ」「マイナビ関連会社」が調査し、公式に発表したデータにつきましては、用いて良いものとします。

書籍、マスコミや企業の発表するデータは原則、NGとします。

参考として、以下のリンクを挙げます。

https://docs.google.com/spreadsheets/d/1-wGgHhS1_id5DP4KZqfrQaE5-qIOpekuEWMlQQqvGNc/edit?usp=sharing

本文中で使ったデータや引用元は、出所記載を必ずお願いします。

また、**他サイトや文献からファクトや文章を引く際には、「参考」であるのか、「引用」であるのかを明記**して下さい。

・参考

書籍や専門サイトなどのファクトあるいは情報を参考にして、自分の考えにまとめる行為。

あくまでも、自分の言葉で原稿に落とす場合は「参考」として表記して下さい。

・引用

書籍や専門サイトなどの文章をそのまま引いて紹介することを指します。

この場合、「」や「」などで該当箇所を括り、「引用」として表記して下さい。

また、いずれの場合も、表記の仕方のルールは、下に従って下さい。

政府刊行物や専門サイトなどを参考もしくは引用する場合、該当箇所に

*1 *2

と番号を振り、記事末尾に

*1

参考)引用元「資料名」

URL……

と示して下さい。

(例)

*1

参考)総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告 平成31年(2019年)1月結果」

<https://www.stat.go.jp/data/idou/sokuhou/tsuki/index.html>

*2

引用)「世界の中央銀行」田尻嗣夫著 P253

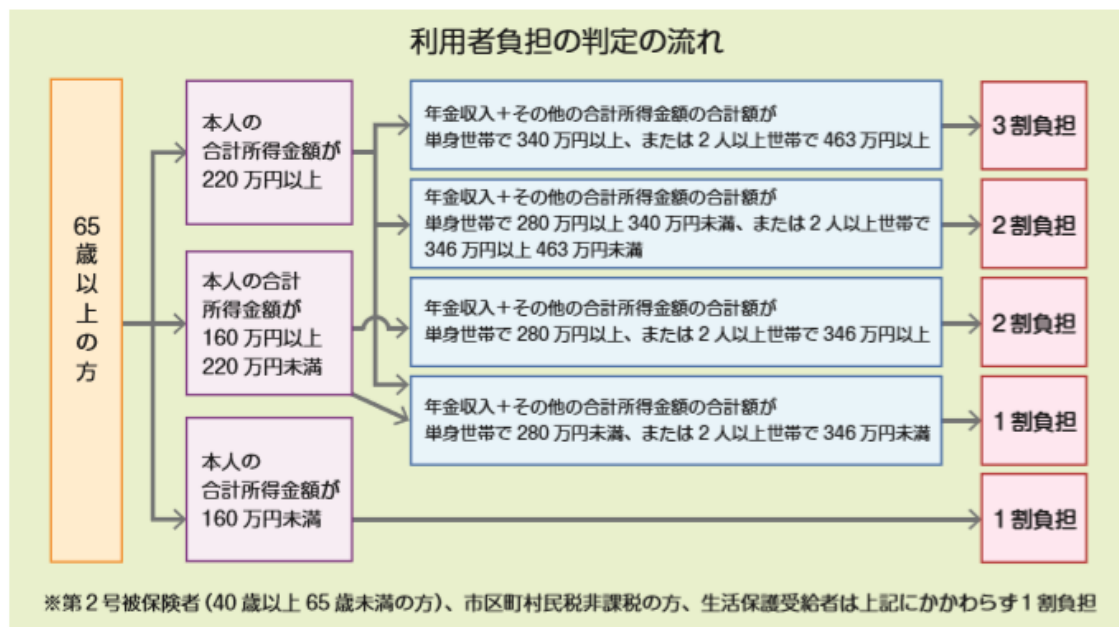
というような示し方で、参考・引用を明確に区分して脚注を作成してくださいをお願いします。

※図表を引用した場合

図表をそのまま紹介する場合は、引用にあたります。

そのため、図表の場合は図表の直下に、下記の形式で引用元を明記して下さい。

(例)



引用)厚生労働省「利用者負担割合」

<https://www.mhlw.go.jp/content/000334525.pdf>

※ライター様ご自身で、いずれかのサイトを参考にして表やグラフを造った際には、

参考)厚生労働省「利用者負担割合」を参考に筆者作成

<https://www.mhlw.go.jp/content/000334525.pdf>

というように示して下さい。

海外の記事や画像などは、権利関係の特定が困難ですので使用しないで下さい。

8. 文体や表現等について

- 1記事の文字数は3,000字程度
- 2800文字を下回る場合、差し戻すことがあります
- タイトルと、段落ごとに見出しを作成
- 文章は「です・ます」調での執筆をお願いします

9. 提出物

- 納品物

グーグルドキュメントリンクでの提出を推奨します。慣れないうちはwordファイルでも構いません。

- データ

書籍を出所としている場合、該当箇所が確認できるスクリーンショットなどをお送りください。

◆【重要】源泉徴収について

原稿料については、**源泉徴収を差し引いての報酬お支払い**となります。

そのため初回の発注に先立ちまして、支払調書作成のために

- お名前

- ご住所

の個人情報が必要です。

必ず、ご確認の上でご応募をお願いします。

なお、弊社の個人情報に関する取り扱い規定は以下のページから確認が可能です。

会社名:ティネクト株式会社

所在地:東京都中央区日本橋兜町17-2 兜町第6葉山ビル4階

代表取締役:安達裕哉

クラウドソーシング担当取締役:桃野泰徳

個人情報の取扱規程(弊社Webサイト内)

https://blog.tinect.jp/?page_id=50890

改めまして、お預かりした個人情報は、ご依頼を申し上げる業務を遂行する目的にのみ使用をさせて頂き、その他の目的には一切使用しないことを固くお約束申しあげます。

以上、最後までお読み頂きましてありがとうございました。

お取り組みを、どうぞ宜しくお願いします。